

リトルペガサス 児童発達支援自己評価表（2018年度実施）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員に合わせた設計で建築した。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			国の規定よりも多い職員配置になっている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			活動室と廊下を木材の種類により色を変えたり、事業所全体がバリアフリーになっている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			通室前は建物の周りをチェックしたり、毎日、清掃を行っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			法人での人事考課により、個々の目標を立て、振り返り、見直しをしている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査だけでなく、面談等を通して、保護者が意見を伝えやすい雰囲気作りに配慮している。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今後も定期的にホームページにて公表していく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			年2回法人全体での第三者委員会が行われ、施設長・委員が出席している。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			児童グループでの事例検討会や法人内での研究会を行っている。またスーパーバイズも受けている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			心理士による、相談を月2回実施。相談支援専門員との連携も図っている。また保護者の願いを記入して頂き、支援計画に組み込んでいる。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人内共通フェイスシートを使用している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			児童発達支援計画作成時に検討会議を行い、児童発達管理責任者を中心として、ガイドラインに示してある項目を確認している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			児童発達支援計画に基づき、職員・保護者と共通理解を図り支援を行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		事業所全体での話しは難しく、各クラス単位となっている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		ルーチンも大切に、季節の行事を取り入れたり、参加しやすいプログラム作りを行っている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			主に集団行動だが、通室児の実態に合わせ、個別に関われる時間を作っている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼で職員の仕事内容・療育内容・支援の流れなどを確認している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		終礼はないので、各クラスで振り返りを行い、必要事項は当日または翌日の朝礼で共有している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録をとり、支援計画との照らし合わせを行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度見直しを行い、新しい計画に盛り込んでいる。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			施設長または児童発達管理責任者が、情報の共有を図っている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			市のこども部会に出席、関係機関との連携を図っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/	/	今年度の受け入れはなし。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	/	今年度の受け入れはなし。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保育所等訪問支援を通して、引き継ぎを行ったり、情報共有と相互理解を図っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保育所等訪問支援を通して、引き継ぎを行ったり、情報共有と相互理解を図っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		今年度より公開療育を行った。今後は今まで以上に市の児童発達と連携を図りたい。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	戸外あそびで公園に行き地域の子と交流する機会はあるが、保育所・幼稚園などとの交流はない。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			こども部会・児童発達支援事業所連絡会議に出席している。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時、お子さんの様子を伝えている。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者の勉強会の開催と、実際母子通室であるので、ペアレントトレーニングを行っている。
	保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
㉝		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		○		今年度は口頭説明とアンケート調査になってしまったので、来年度は説明を保護者会の中で行いたい。
㉞		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		定期的な面談はあるが、個々の必要な時に面談を組み込む事が難しかった。
㉟		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者の会(お助け隊)活動で情報交換したり、お茶会なども計画されている。
㊱		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情・相談があった場合は迅速に対応している。第三者委員の話や契約時にお伝えしているが、話された事の記憶に残るのが、難しかった。
㊲		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人誌の発行や毎月おたよりを作成している。
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人ファイルの入っている部屋を、建築した時に作ったり、注意して扱っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		絵・写真カードを用いたり、マカトン法サインやモデルを示したりして、視覚的なアプローチも行っている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		法人としてのイベントは多く開催している。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			契約時に説明し、緊急連絡先を入室時に提出してもらっている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか				※年2回、消防への申請の上での避難訓練を実施している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○		服薬カードやアレルギーはファイルに印をつけ、職員全員が把握できるようにしている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		医療機関のアレルギー検査結果を提出してもらっている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人でのフォーマットに記入し、職員会議等で共有している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員が研修に参加し、報告書を回覧している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束は実際にまだないが、保護者から要望がある場合支援計画書に記載していく。

- この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。